

安全データシート

Copyright, 2025, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1)3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2)本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

 Document Group Number
 11-9295-4
 版
 13.03

 発行日
 2025/10/23
 前発行日
 2024/05/10

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

スコッチ・ブライト™ ノンリンスしみとりEX

3M ストックナンバー

JN-3301-1507-0 JN-3301-1770-4 JN-3301-1771-2

7010688004 7010688005 7010687978

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

カーペット床用クリーニング、シミ取り

使用上の制限

工業用(清掃業)

1.3. 会社情報

供給者スリーエム ジャパン株式会社所在地本社 東京都品川区北品川6-7-29

担当部門 コマーシャルブランディング&トランスポーテーションプロダクトプラットフォーム技術部

電話番号 0570-012-388

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分2A

皮膚腐食性/刺激性: 区分2

生殖毒性:区分1

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H319強い眼刺激H315皮膚刺激

H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

注意書き

安全対策

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

P202 安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。

P280E保護手袋を着用すること。P264取扱後はよく洗うこと。

応急措置

P305 + P351 + P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着

用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。P302 + P352皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。P332 + P313皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。P362 + P364汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

保管

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物/容器を国際,国,都道府県,市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	70 - 90
2-ブトキシエタノール	111-76-2	10
ポリカルボン酸ナトリウム塩	営業秘密	0.50 - 1.5
水及びその他の成分	営業秘密	0.50 - 1.5

N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	1.5
水酸化アンモニウム	1336-21-6	0. 13

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を 受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。 毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合: 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

<u>物質</u>	<u>条件</u>
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃燒中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、 顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 新鮮な空気でその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバー し、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 水で残さを清浄する。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 酸化剤との接触を避ける(塩素、クロム酸等)。 指定された個人保護具を使用する。

保管

酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の 許容濃度または管理濃度がないことを示している。

	TIME STITE OF THE				
成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考	
2-ブトキシエタノール	111-76-2	ACGIH	TWA: 20 ppm	A3: 動物発がん性物質	
2-ブトキシエタノール	111-76-2	ISHL	TLV (8時間) : 25 ppm		
2-ブトキシエタノール	111-76-2	JSOH OELs	CEIL:97 mg/m3(20 ppm)	皮膚	
アンモニア	1336-21-6	ACGIH	TWA: 25ppm、STEL: 35ppm		
アンモニア	1336-21-6	JSOH OELs	TWA (8時間):17 mg/m3		
			(25 ppm)		
N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	AIHA	TWA:60 mg/m3(15	皮膚	

			ppm);STEL(15 minutes):120 mg/m3(30 ppm)	
N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	JSOH OELs	TWA(8時間):4 mg/m3(1 ppm)	皮膚

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA:時間加重平均値 STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m3:ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。 サイドシールド付安全メガネ 間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する

長時間、あるいは繰り返し接触する場合、以下のような材質の手袋が推奨される(破過時間:4時間を超える):ブチルゴム

長時間/繰り返し接触用途推奨手袋は短時間接触/飛沫接触用途にも適している。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する:

半面形もしくは全面形の有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
	IIX IT

物理的状態:	水溶性液体
<u></u> 色	無色
臭い	溶剤
臭いの閾値	データはない。
pH	10.4
融点・凝固点	データはない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	適用しない
蒸発速度	データはない。
引火性	適用しない
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
燃燒点(下限)	適用しない
燃焼点(上限)	適用しない
蒸気圧	データはない。
相対蒸気密度	データはない。
密度	1.01 g/ml
比重	1.01 [参照基準:水=1]
溶解度	完全に溶解する
溶解度(水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	適用しない
分解温度	データはない。
動粘度	4 mm2/sec
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	96. 9 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物	データはない。
(JISーGHSの要求項目ではない)	

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	適用しない

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解物

<u>物質</u>

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。 また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激: 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

皮膚刺激: 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

眼に入った場合

眼への激しい刺激: 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激: 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

= : · · · ·			
名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い:ATEで計算。5,000
			mg/kg

製品全体	吸入-蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い:ATEで計算。50 mg/1
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い:ATEで計算。5,000 mg/kg
2-ブトキシエタノール	皮膚	モルモ ット	LD50 > 2,000 mg/kg
2-ブトキシエタノール	吸入-蒸気 (4 時間)	モルモ ット	LC50 > 2.6 mg/l
2-ブトキシエタノール	経口摂取	モルモ ット	LD50 1,200 mg/kg
N-メチル-2-ピロリドン	皮膚	ウサギ	LD50 4,000 mg/kg
N-メチル-2-ピロリドン	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.1 mg/l
N-メチル-2-ピロリドン	経口摂取	ラット	LD50 4,320 mg/kg
水酸化アンモニウム	経口摂取	ラット	LD50 350 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
2-ブトキシエタノール	ウサギ	刺激物
N-メチル-2-ピロリドン	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
水酸化アンモニウム	ウサギ	腐食性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
2-ブトキシエタノール	ウサギ	激しい刺激
N-メチル-2-ピロリドン	ウサギ	激しい刺激
水酸化アンモニウム	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
2-ブトキシエタノール	モルモッ ト	区分に該当しない。
N-メチル-2-ピロリドン	ヒト及び 動物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
2-ブトキシエタノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
N-メチル-2-ピロリドン	In vivo	変異原性なし
N-メチル-2-ピロリドン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
2-ブトキシエタノール	吸入した	多種類	陽性データはあるが、分類には不十分。
	場合	の動物	
		種	
N-メチル-2-ピロリドン	吸入した	ラット	発がん性なし
	場合		

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
2-ブトキシエタノール	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,760	妊娠期間中
				mg/kg/∃	
2-ブトキシエタノール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100	器官発生期
				mg/kg/∃	
2-ブトキシエタノール	吸入した	発生毒性区分に該当しない。	多種類の	NOAEL 0.48	器官発生期
	場合		動物種	mg/1	
N-メチル-2-ピロリドン	吸入した	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 0.68	妊娠期間中
	場合			mg/l	
N-メチル-2-ピロリドン	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	LOAEL 50	2 世代
				mg/kg/∃	
N-メチル-2-ピロリドン	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	ラット	LOAEL 50	2 世代
				mg/kg/∃	
N-メチル-2-ピロリドン	皮膚	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 237	器官発生期
				mg/kg/∃	
N-メチル-2-ピロリドン	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 160	2 世代
				mg/kg/∃	

標的臟器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臟器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
2-ブトキシエタノール	皮膚	内分泌系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 902	6 時間
					mg/kg	
2-ブトキシエタノール	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ウサギ	LOAEL 72	入手できな
					mg/kg	٧١
2-ブトキシエタノール	皮膚	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	LOAEL 451	6 時間
					mg/kg	
2-ブトキシエタノール	皮膚	血液	区分に該当しない。	多種類	NOAEL 入手	
				の動物	できない	
				種		
2-ブトキシエタノール	吸入した	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類に	ヒト	NOAEL 入手	
	場合		は不十分。		できない	
2-ブトキシエタノール	吸入した	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	専門家	NOAEL 入手	
	場合			による	できない	
				判断		
2-ブトキシエタノール	吸入した	血液	区分に該当しない。	多種類	NOAEL 入手	
	場合			の動物	できない	
	/7 IFF		P ()) = mbole) - 2 · ·	種		
2-ブトキシエタノール	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	専門家	NOAEL 入手	
				による	できない	
0	タロ 相 時	for inter-		判断	NOAFI 3 F	
2-ブトキシエタノール	経口摂取	血液	区分に該当しない。	多種類 の動物	NOAEL 入手 できない	
				種	(13 ない)	
2-ブトキシエタノール	你口怕吃	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	性とト	NOAEL 入手	中毒ないし
2-フトヤンエタノール	経口摂取	育願ねよい膀胱	凸分に該ヨレない。	L L	NOAEL 八手 できない	中毎ないし 乱用時
N JAn O Pop II IV	nT/, 71 1 -/-	成の場合の大学	ロバに鉄水1 4717	ヒト	1 0 0.1	11-71-7
N-メチル-2-ピロリドン	吸入した	呼吸器への刺激	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 0.05	8 時間

	場合				mg/l	
水酸化アンモニウム	吸入した	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 入手	
	場合				できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臟器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
2-ブトキシエタノー	皮膚	血液	区分に該当しない。	多種類	NOAEL 入手	入手できな
ル				の動物	できない	V
				種		
2-ブトキシエタノー	皮膚	内分泌系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 150	90 日
ル					mg/kg/day	
2-ブトキシエタノー	吸入した	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.4	14 週
ル	場合				mg/l	
2-ブトキシエタノー	吸入した	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.15	14 週
ル	場合				mg/l	
2-ブトキシエタノー	吸入した	血液	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 0.15	6 月
ル	場合				mg/1	
2-ブトキシエタノー	吸入した	内分泌系	区分に該当しない。	イヌ	LOAEL 1.9	8 目
ル	場合				mg/l	
2-ブトキシエタノー	経口摂取	血液	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 69	13 週
ル					mg/kg/day	
2-ブトキシエタノー	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類	NOAEL 入手	入手できな
ル				の動物	できない	<i>V</i> >
				種		
N-メチル-2-ピロリドン	吸入した	骨髄 免疫シス	陽性データはあるが、分類に	ラット	NOAEL 0.5	4 週
	場合	テム 呼吸器系	は不十分。		mg/l	
N-メチル-2-ピロリドン	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 250	90 日
					mg/kg/day	
N-メチル-2-ピロリドン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,060	4 週
					mg/kg/day	
N-メチル-2-ピロリドン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,057	90 日
					mg/kg/day	
N-メチル-2-ピロリドン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 300	90 日
					mg/kg/day	
N-メチル-2-ピロリドン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 150	3 月
					mg/kg/day	

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。 セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期(慢性)

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンド ポイント	試験結果
N-メチル-2- ピロリドン	872-50-4	テナガエビ	実験	96 時間	EC50	1,107 mg/l
N-メチル-2- ピロリドン	872-50-4	緑藻類	実験	72 時間	EC50	600.5 mg/1
N-メチル-2- ピロリドン	872-50-4	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>500 mg/1
N-メチル-2- ピロリドン	872-50-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	4,897 mg/1
N-メチル-2- ピロリドン	872-50-4	緑藻類	実験	72 時間	EC10	92.6 mg/1
N-メチル-2- ピロリドン	872-50-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	12.5 mg/l
2 ーブトキシ エタノール	111-76-2	液状化	実験	16 時間	IC50	>1,000 mg/1
2 – ブトキシ エタノール	111-76-2	東欧がき	実験	96 時間	LC50	89.4 mg/1
2-ブトキシ エタノール	111-76-2	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	1,840 mg/1
2-ブトキシ エタノール	111-76-2	ニジマス	実験	96 時間	LC50	1,474 mg/l
2-ブトキシ エタノール	111-76-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1,550 mg/l
2 ーブトキシ エタノール	111-76-2	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	679 mg/1
2 ーブトキシ エタノール	111-76-2	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/1
水酸化アンモ ニウム	1336-21-6	無脊椎動物	推定値	48 時間	EC50	21 mg/1
水酸化アンモニウム	1336-21-6	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	1.8 mg/l
水酸化アンモニウム	1336-21-6	ミジンコ	推定値	48 時間	LC50	7.36 mg/1
水酸化アンモニウム	1336-21-6	ニジマス	推定値	73 日	NOEC	0.0278 mg/1
水酸化アンモニウム	1336-21-6	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	1.1 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
						_

N-メチル-2-	872-50-4	実験 生分解	28 日	生物学的酸素	73 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
ピロリドン		性		要求量		
2-ブトキシ	111-76-2	実験 生分解	28 日	二酸化炭素の	90.4 CO2発生	OECD 301B - 修正シ
エタノール		性		発生	量/理論C02発	ュツルム試験又は二
					生量%	酸化炭素
2-ブトキシ	111-76-2	実験 生分解	28 日	DOC(溶存有	100 DOC除去%	OECD 302B Zahn-
エタノール		性		機炭素)残留		Wellens/EVPA試験
				量		
水酸化アンモ	1336-21-6	類似コンパウ		半減期(t	6 時間 (t	
ニウム		ンド 好気性		1/2)	1/2)	
		土壌代謝				

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
N-メチル-2-	872-50-4	実験 生態濃		オクタノール	-0.46	
ピロリドン		縮		/水 分配係		
				数		
2-ブトキシ	111-76-2	実験 生態濃		オクタノール	0.81	
エタノール		縮		/水 分配係		
				数		
水酸化アンモ	1336-21-6	類似コンパウ		オクタノール	-1.14	OECD107 log Kow フ
ニウム		ンド 生態濃		/水 分配係		ラスコ振騰法
		縮		数		

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法:危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物(法第57条の3)

労働安全衛生法:皮膚等障害化学物質(安衛則第594条の2第1項);皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用

すること

労働安全衛生法:施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法:施行令18条有害物質(表示物質) 労働安全衛生法:施行令別表第6の2 有機溶剤

化管法:指定化学物質

主な法規制物質

労働安全衛生法:通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分			2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
N-メチル-2-ピロリドン	N-メチル-2-ピロリドン	該当	該当	該当
	エチレングリコールモノ-n-ブ チルエーテル	該当	該当	該当
水酸化アンモニウム	アンモニア	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
N-メチル-2-ピロリドン	N-メチル-2-ピロリドン	746	第1種指定化学物質
2-ブトキシエタノール	エチレングリコールモノブチルエーテル	594	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション15:労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報修正.

セクション1:担当部門名 情報修正.

セクション2:環境影響ステートメント 情報の削除.

セクション2:GHS分類 情報修正.

セクション2:注意書き - 一般 情報の削除.

セクション2:注意書き - 安全対策 情報修正.

セクション2:注意書き - 応急措置 情報修正.

セクション3:成分表 情報修正.

セクション6:事故漏出時の清掃 情報修正.

セクション6:事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.

セクション8:作業環境許容値 情報修正.

セクション8:皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報の削除.

セクション8:皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の削除.

セクション9:特性 情報の削除.

セクション9:動粘度情報 情報修正.

セクション9:蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.

セクション11:急性毒性の表 情報修正.

セクション11:生殖胞変異原性の表 情報修正.

セクション11:重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.

セクション11:皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.

セクション11:皮膚感作性の表 情報修正.

セクション11:標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正. セクション11:標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.

セクション12:水生生物への急性毒性情報 情報修正. セクション12:成分生態毒性情報 情報修正.

セクション12:残留性および分解性の情報 情報修正.

セクション12:生態濃縮性情報 情報修正.

セクション15:適用法規のステートメント 情報修正.

セクション8:長時間接触用保護手袋に関する記述 情報の追加.

セクション8:長時間接触用保護手袋の種類 情報の追加.

セクション8:短時間の使用に適した長時間接触用保護手袋(手袋着用時)情報の追加.

免責事項:この安全データシート(SDS)の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。 (法令で要求される場合を除く)本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む(これらに限定されるものではありません)適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。